

## 1 部門目標

救急・重症患者にシームレスな安心できる看護を提供する。

## 2 業務体制・スタッフ

ハイケアユニット入院医療管理料1を算定した14床の病棟であり、救急外来と血管造影室を兼務している。なお、救急外来は、外来部門と協働している。

看護職員は23名であり、その内訳は看護師長1名、主任看護師2名、看護師19名、看護補助員1名である。

## 3 業務実績

平成29年度の1日平均患者数は3.8人、病床稼働率は26.8%（前年比-3.1%）、平均在院日数は7.0日だった。

## 4 1年間の総括

自部署は、今年度「救急・重症患者にシームレスな安心できる看護を提供する」ことを目指し、マニュアルの見直し、フローチャートの作成、ガイドラインやバンドル・プロトコルに基づいた取り組みを行ってきた。今後は、これらの取り組みを実践し、評価・改善することが課題である。

また、数年来取り組んできたABCDEバンドルや人工呼吸離脱プロトコルなど根拠に基づいたケアは、徐々にスタッフに浸透し、標準的に取り組めるようになってきている。今回の診療報酬改定でも、特定集中領域で早期離床に算定がつくなど、クリティカル領域での重症化の予防としての早期モビライゼーションは重要である。この取り組みが、患者の退院後の生活につながるものとして、スタッフ一同取り組んでいきたい。

## 5 今後の目標

今後は、マニュアルやフローチャートなどを看護実践のなかで評価・改善することが課題である。また、ガイドラインやバンドル・プロトコルに基づいた看護は、一般的なものであり、患者・家族の退院後の生活をイメージしながら個別性を意識した取り組みをしていくことが課題である。